

# 令和3年度事業報告

## ○概要

我が国の総人口は前年に比べ 51 万人減少している一方で、65 歳以上の高齢者人口は前年に比べ 22 万人増加し過去最多となり、総人口に占める割合(高齢化率)は 29.1%となります。

今後、高齢者数は 2042 年(20 年後)にピークを迎えると予測されています。また、労働力の中心的な担い手である生産年齢人口と言われる 15 歳から 64 歳の人口は総人口の 59.4%(2021 年 10 月末時点)と統計を取り始めた 1950 年以来最低となりました。

生産年齢人口が減少すると「労働者の人手不足」となり、今後益々、高齢者が労働参加することで「労働力不足」を補っていくことが必要となります。

このような状況下において、今年度の事業運営は、新型コロナウイルスの変異株「デルタ株」の感染が拡大し、その後も「オミクロン株」の発生により新型コロナウイルス感染症が収束に至らず、昨年度に引き続き、コロナ禍の影響を強く受けた年となりました。

令和3年度の事業実績は前年度よりさらに厳しいものとなり、請負・委任の契約金額は 101,322 千円、前年度比 96.7%、目標に対する達成率 97.6%、受注件数は前年より 6 件減の 2,494 件となりました。また派遣事業の契約金額は 7,762 千円と前年度の 11,213 千円を大きく下回る結果となりました。会員数については昨年度より 5 名減の 286 名で、目標の 300 名に対し 95%の達成率という結果となり、全ての実績が目標を達成できませんでした。

特に会員拡大が伸び悩んでいることについては、高齢になったこと、コロナ禍での自粛により外に出る気力がなくなった等で退会する会員が増えてしまったことやPR不足によりシルバー人材センターを周知できなかったこと、また、高年齢者雇用安定法の改正が令和3年4月から施行され事業主の65歳までの雇用確保の義務化と、70歳までの就業確保が努力義務となったことで定年延長や再雇用がされ、シルバー会員になり働くことを希望する退職者が減少していることも要因と考えられます。

今後に向け諸々の課題もありますが、高齢者の就業に対する多様なニーズに対応した雇用・就業機会を提供し「生涯現役社会」における「高齢者のセカンドライフの窓口」として地域のニーズに応えられるよう就業機会を確保し会員拡大に努めていきます。

高齢化社会の担い手として基本理念である「自主・自立・共働・共助」のもと、地域の皆様からの期待に応え、信頼されるセンターをめざし、美作市をはじめ関係機関のご支援とご協力を得て、業務を推進してまいりました。

以下、事業の報告をいたします。

### 1. 普及啓発活動の実施

- ・機関誌への広告掲載、告知放送、ケーブルテレビ「みまちゃんネル」を活用し会員募集を呼びかけました。

- ・会員募集、お仕事募集の案内を掲載した「シルバーだより」を発行し、新聞に折込し各家庭へ配布、就業開拓員、職員が公共や企業へ訪問し配布、また公共や企業の窓口などへ設置しました。
- ・会員、役職員の知人等への声掛けによる入会の促進を図りました。
- ・ホームページの更新をし、地域から離れた方にも活動報告などの周知を行いました。

## 2. 安全・適正就業の推進

- ・「安全は全てに優先する」をモットーに安全パトロールなどで、作業前には安全ミーティングを行うように指導し、事故防止対策を実施しているところですが、傷害事故が8件発生し、その内、4件は蜂刺され、その他は飛来物による切傷、階段の踏み外しによる骨折等でした。また賠償事故は前年より3件増の6件発生してしまいました。賠償事故の内訳は3件が草刈作業中の石の飛散により車の窓を破損させた事故で、あと3件は伐採作業中の家屋の瓦、窓ガラス、電線破損事故でした。事故の発生が年々増加していく為、事故を起こしたあとの報告について、班長または事務局の聞き取りにより事故処理をしておりましたが、事故の再発防止の観点から事故を起こした本人に書面による事故報告を求めることとしました。来年度こそは事故ゼロを目標に「美作市シルバー人材センターの安全ルール」の順守と事故防止、健康管理等を徹底していきます。
- ・「交通安全無事故・無違反チャレンジ200日」へ3チームが参加・挑戦し、今年度は2チームが達成することができました。
- ・今年度の安全委員会の取り組みとして、7月の安全就業強化月間に合わせ、ヒヤリ・ハットとした経験談や安全標語を募集し「ヒヤリ・ハット」は14件、「安全標語」は28件集まりました。28件の標語の内、最優秀賞に「今日も無事故で終了 家族の笑顔が待っている」が決定され、美作市シルバー人材センターの安全標語となりました。
- ・適正就業の推進、就業率の向上の見地から、極力就業のローテーション化に努めてきました。

## 3. 派遣事業等の推進

- ・今年度の派遣事業は、医療機関の清掃作業・工場の軽作業等の依頼はありましたが、マッチングが出来ず契約に至らないことがありました。
- ・臨時的かつ短期的業務への雇用・就業を希望する一般求職者や会員を対象とした職業紹介事業は依頼がなく実績はありませんでした。

#### 4. 空き家管理事業の推進

- ・今年度から空き家管理事業を始め市外の発注者へ周知したところ「親戚で相談してみる」「今は必要ないが将来依頼するかも」など、さまざまな声があり、今年度は5件の申し込みがありました。今後も積極的なPRを実施していきます。

#### 5. 就業等に関する調査研究事業の実施

- ・コロナ禍の為、役員等による調査・研修は行いませんでした。
- ・電話等でのお客様の声としては、「信頼できる会員さんで安心しています」「暑い中の作業ありがとうございます」など、感謝の言葉が多く寄せられている中に、マナーの悪さ、就業結果などについての苦情もありました。

#### 6. 会員拡充と就業機会の開拓・提供業務の推進

- ・公共団体・企業等各機関、市民の皆様への会員拡充、就業開拓を周知する為、また公益法人組織であるということから各地区役員、会員の協力を得て公共施設等のボランティア（奉仕）活動を以下の市内3ヶ所で実施しました。
  - 東部支所（支所周辺剪定・伐採・草刈作業）
  - 英田支所（英田幼稚園、保育園の剪定作業）
  - 本所（美作市保健福祉部保健センター剪定・草刈作業）

#### 7. 会員への技術等の付与

- ・県連合主催で「ドローン講習」「刃物研ぎ講習」「植木剪定講習」「チェーンソー取扱講習」等が実施されました。センター独自の講習会については、講習会開催予定時期に美作市内のコロナ感染者が拡大したため、開催計画を断念いたしました。
- ・今後も技能の継承、知識の向上、会員拡大を図る為、コロナ感染拡大防止対策を考慮して継続していきます。

#### 8. 令和3年度の就業機会の実績数（請負・委任）

(1) 就業実人員	241名	(2) 就業率	84.3%
(3) 就業延人員	15,668人日	(4) 受注件数	2,494件
(5) 契約金額	101,322千円	(6) 年度末会員数	286名